

第二回中間報告

(2023年10月1日～12月31日)

国際ロータリー第2710地区事務局 2023-2024年度

地区補助金

奨学生：中村 梨華

1. 報告書提出日：

2023年12月31日 第2回報告

2. 基本情報

奨学生：中村 梨華

派遣クラブ：広島東南ロータリークラブ

カウンセラー：谷井 智 様

受入ホストクラブ：ブリストルロータリー

受け入れカウンセラー：Leigh Mitchell 様

教育機関：ブリストル大学(University of Bristol)

専攻分野：社会イノベーションと起業家精神(MSc Social Innovation and Entrepreneurship)

3. 学業面での成果

大学の1学期はどの授業でも、実践よりも理論に焦点を当てる傾向にありました。それぞれの授業について、毎週3時間のセミナーと50ページ以上のリーディング、グループでの課題を行いました。

ユーザーリサーチの授業では、社会調査の理論を学び、中国とナイジェリアの学生6名とグループ課題に取り組みました。ローカルの交通機関の改善の提言を3000ワードのエッセイにまとめ、提出しました。

イノベーションのためのツールと方法論の授業では、デザイン思考、システム思考について教科書と文献で学び、中国の学生5人とチームをとグループ課題に取り組み、3000ワードのエッセイを提出しました。

イノベーションのクラスでは、8名の少人数で行われました。中でも学びになったのは、ソーシャルイノベーションを行う上でのリスク管理です。

実践としては、ブリストルでブリストルとその地域の黒人および少数派コミュニティの起業家を支援する [BSWN\(黒人西南ネットワーク\)](#)を訪問しました。ここでの学びとしては、

1. 1次調査を行いデータをもとに意思決定する事

イギリス社会では多様性が重視され、マイノリティのための支援制度が多くありますが、これは決してマイノリティへの共感や Diversity & Inclusion の風潮から来るものではありません。実際にマイノリティのコミュニティへの定性調査を行ったり、マジョリティ(白人)のコミュニティとのデータの比較をもとに、社会的支援の分配の決定を下したりしています。

2. 資金援助だけでは長期的な支援に繋がりにくい事

マイノリティへの長期的な支援で重要なことは、投資家から資金を提供して起業家を応援するだけでなく、コミュニティを形成する事です。マイノリティのコミュニティでは起業家に限らず、起業アドバイスの獲得が困難であったり、社会から孤立してしまったりする傾向が強く、BSWN は資金を提供した上でネットワーキングの機会や学習機会を定期的に提供する事に重きを置いています。

3. 見栄えの良いビジネス以外にも資金が渡るようにする事

資金調達と聞くと Tec 企業などを連想しがちですが、BSWN はマイノリティをサポートする文脈で活動しているため、家族経営のレストランやガス職人など生活を立て直すための起業を支援しております。

これらの授業を踏まえ、最終課題では、自分にとってのソーシャルイノベーションの定義と評価を 5000 ワードのエッセイにまとめました。

全ての授業について、課題提出を終え、現在は評価を待っている状態です。

また、授業外では 11 月に日本のアニメ業界を研究している Rayna Denison 教授にアポイントメントを取り、1 時間の意見交換の時間を設けていただきました。日本のアニメビジネスについての西洋からの知見をいただくことができました。日本のコンテンツが西洋で人気になっている一方、アニメ業界のクリエイターに資金が回らないシステムの問題について一緒に考えました。これは自分が事業を考える上で、リスク管理や設計の観点から参考にできる例となりました。

他にも、12 月には経営倫理専門の教授やビジネス専門の教官にアポイントメントを取り 30 分程度の意見交換の時間を設けていただき、授業で学んだ学術知識とキャリアや今後のプロジェクトの実践をつなげる糧とすることができました。

4. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

10 月中旬にカウンセラーの Leigh Mitchell 様と Patricia 様に日本食をふるまったことをきっかけに、ロータリープリストル主催の日本食のチャリティーイベント企画を私が主導することになりました。4 月に行うため、現在はイベント会場を検討しています。

12 月の卓話では、広島東南ロータリーとプリストルロータリークラブのバナー交換を行いました。



5. 直面した課題、問題点等

課題図書・リーリングの課題は量が多く、セミナーでは読んだ前提でのディスカッションが行われるので、2週間前から読み理解するように努めております。自転車で30分かけて通学しているのですが、道路が整備されておらず、雨が多いので滑らないように気を付けています。

6. 今後の課題、目標

今後の学術での目標は、日々の授業に積極的に取り組むこと、また、個人課題の最終プロジェクトでクライアントに満足してもらうことです。そのために、新年からの学期の授業では1学期に学んだ理論をもとに実践を行います。授業外の自主的プロジェクトへの寄与を念頭に置き、論理を勉強して行きます。

また、私生活では留学で得た知識を実社会で生かす機会を模索していくことです。ロータリークラブとのつながりを継続し、地域社会においても積極的な貢献をしていきたいと考えております。

7. その他特記事項

授業料の支払いを行いました。ロータリー財団地区補助のご支援を心より感謝いたします。今年一年の貴重な経験を糧に、来年もより一層の努力を重ねて参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。